

年 月 日

阿賀野市長 様

《申請者》

住 所 阿賀野市.....

氏 名

電話番号.....

メールアドレス.....

阿賀野市子育て世帯移住支援補助金交付申請書

阿賀野市子育て世帯移住・就業等支援事業における移住支援補助金（以下「補助金」という。）の交付を受けたいので、阿賀野市子育て世帯移住・就業等支援事業における移住支援補助金交付要綱第4条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 補助金交付申請額

交 付 申 請 額	金	円
-----------	---	---

2 申請する移住の要件（該当する欄に○を付けてください）

補助金の種類	就業	起業	テレワーク
同時に移住した家族の人数 （申請者を含まない）	人	家族の人数のうち 18歳未満の者の人数	人

3 各種確認事項（該当する欄に○を付けてください）

別紙1「阿賀野市子育て世帯移住支援金の交付申請に関する誓約事項」に記載された内容について	A. 誓約する	B. 誓約しない
別紙1「阿賀野市子育て世帯移住・就業等支援事業に係る個人情報の取扱い」に記載された内容について	A. 同意する	B. 同意しない
以下に記載する移住支援金の移住元に関する要件※2に該当しない。	A. 誓約する	B. 誓約しない
申請日から5年以上継続して、本市に居住する意志について	A. 意思がある	B. 意思がない
（就業・起業の場合のみ記載）申請日から5年以上継続して、就業・起業する意思について	A. 意思がある	B. 意思がない
世帯員全てが暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないことについて	A. 該当する	B. 該当しない

(就業の場合のみ記載) 就業先の法人の代表者、取締役などの経営を担う者との関係		A. 3親等以内の親族に該当しない		B. 3親等以内の親族に該当する
(テレワークの場合のみ記載) 阿賀野市への移住の意思について		A. 自己の意思である		B. 所属からの命令である

※1 各種確認事項のB.に該当した場合は、補助金の交付対象となりません。

※2 移住支援金の移住元に関する要件

<p>a 住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年法律第19号）、山村振興法（昭和40年法律第64号）、離島振興法（昭和28年法律第72号）、半島振興法（昭和60年法律第63号）又は小笠原諸島振興開発特別措置法（昭和44年法律第79号）の指定区域を含む市町村（政令指定都市を除く。）をいう。以下同じ。）以外の地域に在住し、東京23区内への通勤（雇用者としての通勤の場合にあっては、雇用保険の被保険者としての通勤に限る。以下同じ。）をしていたこと。</p> <p>b 住民票を移す直前に、連続して1年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内への通勤をしていたこと。（ただし、東京23区内への通勤の期間については、住民票を移す3か月前までを当該1年の起算点とすることができる。）</p> <p>c ただし、東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住しつつ、東京23区内の大学等へ通学し、東京23区内の企業等へ就職した者については、通学期間も本事業の移住元としての対象期間とすることができる。</p>
--

4 転入前（移住元）の住所及び転入年月日

住 所	〒		
転入年月日	年	月	日

5 移住後の生活状況（テレワークによる移住者のみ）

勤務先部署	
住 所	〒
勤務先へ行く頻度	

■ 添付書類

【必ず必要な書類等】（□にチェック）

- ①顔写真付き本人確認書類の写し
- ②別紙1（誓約事項、個人情報取扱い）
- ③移住元（転入前）の住民票除票の写し（世帯員分を含む）
- ④転入前、転入後に同一世帯に属する世帯員であることを証する書類
- ⑤振込先が確認できる預金通帳又はキャッシュカードの写し

【該当する要件ごとに必要となる書類】

- ◆要件を満たす就業をした場合
 - ⑥就業先企業等の就業証明書（雇用形態、応募日時等を確認できる書類）
- ◆要件を満たす起業をした場合
 - ⑦起業支援金の交付決定通知書の写し
- ◆テレワークの要件に該当する場合
 - ⑧所属先企業等の就業証明書（自己の意思等を確認できる書類）

管理コード（新潟県及び阿賀野市使用欄）	
---------------------	--